

たんぽぽだより



2019年3月20日 発行 301号

社会福祉法人龍鳳 たんぽぽ

〒176-0001 練馬区練馬 2-14-9

TEL03-5946-3588

<http://www.fukushiryuhoh.or.jp/tanpopo/>

大切な居場所 ～みんなのたんぽぽ～

施設長 浅見 僚子

日ごとに暖かさが増し、やわらかな春風に心誘われる季節となりました。今年度もあと10日余りとなり、たんぽぽではインフルエンザの流行もなく、無事に1年間を終えることができそうです。

さて、今年度は、改正された「障害者総合支援法（正式名称：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）」が4月から施行され、新たな一步を踏み出した年になりました。また、都においては「東京都障害者・障害児施策推進計画」が策定され、①全ての都民が共に暮らす共生社会の実現 ②障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現 ③障害者が生き生きと働ける社会の実現 の3つの基本理念が掲げられています。10月1日には、「東京都障害者差別条例（正式名称：東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例）」が施行されました。条例のポイントは①都及び事業所の「不当な差別的取扱い」禁止 ②都及び事業所の「合理的配慮」義務化 です。不当な差別的取扱いの具体例としては、障害を理由とした入店拒否や補助犬の入店拒否などがあります。合理的配慮とは、ご本人の障害の状態や特性に応じて、必要かつ合理的な対応をすることをいいます。国の差別解消法では、合理的配慮を努力義務としていますが、都では、「義務」としています。

たんぽぽにおいては、前述のように社会の大きな動きに伴い、企業見学・面談・実習の案内が多く届けられるようになり、利用者様の意欲も高まってきています。障害者の就労に関しては、追い風が吹いてきていることを実感する1年間でした。就労に関するだけでなく、その他の様々な活動や作業においても、お一人お一人の利用者様が、その人らしく持てる力を十分発揮して、毎日を充実して、かつ楽しく過ごしていただけるよう、様々な配慮を工夫しながら支援にあたらせていただきました。年度末の保護者面談での内容も参考にさせていただき、今後も合理的配慮の充実を継続してまいります。

先日行われた練馬区利用者説明会において、特別支援学校に通われている保護者の方からの相談を、何件か受けました。たんぽぽでの生活介護の活動について説明をしたところ、「こんなにいろいろな活動をさせていただけるんですね。涙がでそうです。」と喜んでいらした保護者がいらっしゃいました。卒業を控えて、今後、どこでどのような生活をしていくかということは、保護者の方の心配や不安とともに利用者様の人生をかけた大問題である、ということ、私はこの1年間で実感を持って理解することができるようになりました。

たんぽぽの存在が、障害のある方々の居場所としてお役に立てるよう、今後も職員一同尽力してまいります。利用者様のがんばりや成長が職員の喜びです。保護者様や関係の皆様からの励ましが心の支えです。皆様のおかげで、1年間、無事に終えることができました。日頃のご厚意に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

4月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13 開所日
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29 昭和の日	30 祝日				

新年度を迎えるにあたって

新年度を迎えるにあたって、一年を振り返ると同時に、課題と対策について、協議・検討してきました。

今年度の取り組みとして、就B（就労継続支援B型）では、「意欲的に働き、工賃を上げて今よりもより良い生活や生き方をしてもらいたい」という思いでさまざまな仕事に取り組みました。仕事内容は、公園清掃、除草作業、ソケット、フックの検品・袋詰め、コインランドリー清掃等の受注を受けています。利用者さんたちには、仕事を固定せずに、さまざまな作業をローテーションで体験してもらうプログラムにしています。これは、さまざまな活動の積み重ねが職域を広げるとともに、したい仕事を選択するための体験として有効だと思っているからです。また、グループで働くことによって障害の重い人も参加でき、一人ではできなくてもお互い補い合い、自分の得意なところを分担して仕事が進むようになりました。

生活介護でも、プログラムとして、運動、音楽、学習、農園等を充実させていきました。また、就Bでの受注作業を行ない、体験、練習を重ねています。初めは、準備・片付けができなかったことが徐々にできるようになったり、消極的だった人が積極的になったりしてきました。活き活きとした表情からは自信を持って取り組んでいるご様子が伺えます。

新年度は、就Bでは、「働きたい」という意欲を育て、自信を持って働く、生活介護では、身の回りの自立、コミュニケーションを重点目標として取り組んでいきます。

サービス管理責任者 北久保 克実

～就労継続支援 B 型の活動～



おせんべいの包みを開けると…請負で作業をした干支人形が入っており、「わーっ！」と喜びの声が上がりました。実際に形になった物を見ると実感を得られ、みんなで頑張った甲斐がありました！



学習活動では PC を使いデータ入力の練習を始めました。

また、テープ貼りの練習をしたり、グループ学習として「箱根旅行にみんなで行こう」と設定し、路線図を見ながら箱根までの電車の乗り換え方法を調べたり、「温泉？」「美術館？」と行く場所を考えるなど、話し合う機会が出来ました。

自分らしく人生を歩んで行っていただけるように、これからも精一杯サポートしてきたいと思います。



個性あふれる商品がたくさん！



～生活介護～



今年度のたんぽぽでの生活や生活介護の活動を振り返り、お一人お一人に思い出やがんばられたことなどをうかがいました。来年度もそれぞれの思いを汲み、充実した一年になるよう取り組んでまいりたいと思います。

〈インタビュー内容〉

- ①今年一番楽しかったことはなんですか。
- ②一番好きな生活介護の活動はなんですか。
- ③今年がんばったことはなんですか。



- ①親睦会
- ②調理
- ③箱折り作業



- ①日帰り旅行
- ②音楽療法
- ③調理



- ①忘年会
- ②音楽療法
- ③ドラム



- ①開祖日(ポッチャ)
- ②調理
- ③調理



- ①親睦会
- ②音楽療法
- ③作業(フック・風船)



- ①忘年会
- ②太鼓クラブ
- ③太鼓



- ①親睦会
- ②音楽療法
- ③刺し子

- ①親睦会
- ②調理
- ③箱折り作業

- ①お花見
- ②調理
- ③ビーズ作業

